

事業の基礎情報

実施主体	加茂市地域公共交通活性化協議会（事務局：加茂市環境課）
事業実施地域	新潟県 加茂市
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創 ・ 他分野共創
他分野共創の類型	こども・子育て
共創パートナー	中越交通(株)、葵タクシー(株)、加茂タクシー(有)、加茂市、(株)イ・ティ・ティコミュニケーションズ、電腦交通(株)、加茂市こども未来課、加茂市教育委員会、加茂市商工観光課、加茂駅周辺まちなかIRIAプラットフォーム、RYDE(株)、イブシー(株)
運行形態	デマンド交通（かもんタクシー）、定時定路線（市町村自家用有償、かもんバス）
運行主体	市内タクシー会社（中越交通(株)、葵タクシー(株)、加茂タクシー(有)）、加茂市環境課

取組の概要

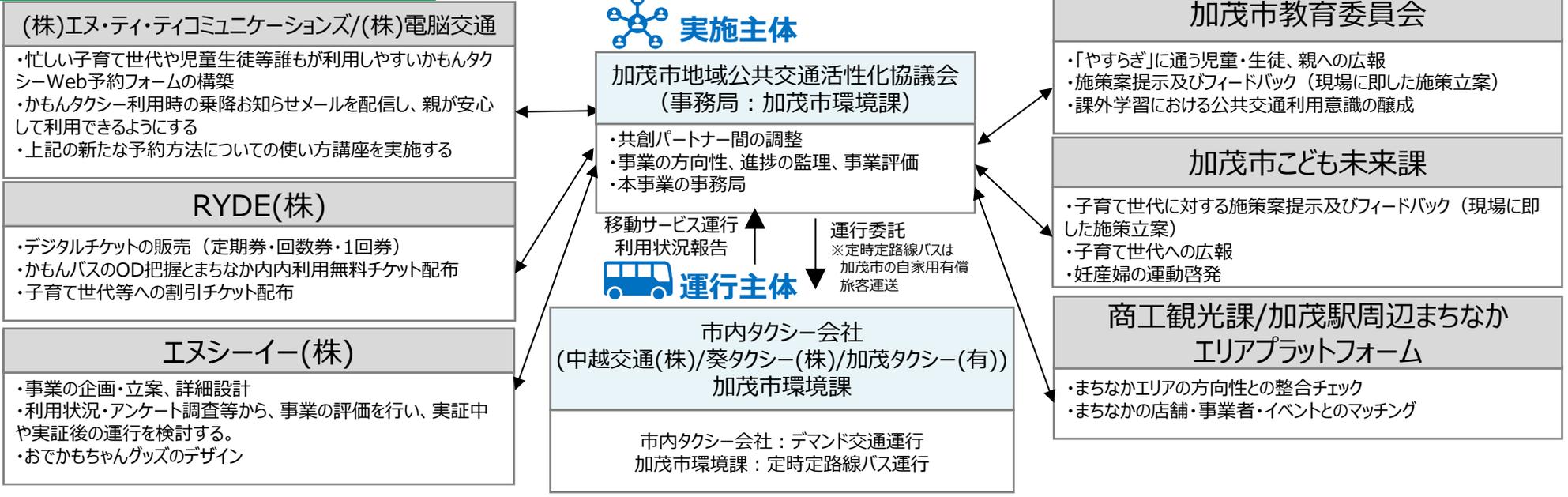
（現状の地域課題と事業目的）

- 課題①：子育て世代が安心して働き育児に専念できるよう、柔軟で利便性の高い移動手段の提供が求められている。
- 課題②：現在市内で運行するデマンド交通は、利用者の集中する時間帯（午前が多く、13時～16時までの利用者が少ない）や年代（高齢者や障がい者の割合が高い）が偏っており、効率化のため、幅広い時間帯・世代で利用促進する必要がある。
- 課題③：小中学校の再編や部活動の地域移行が進み、移動が難しくなる可能性があるため、早めに公共交通を移動の選択肢として認識してほしい。
- 目的：忙しい子育て世代や、児童・生徒等が簡単・便利・お得に利用することができる公共交通を整え、公共交通利用者層の拡大と利用者増を目的とする。

（事業の概要）

- ・現在のかもんタクシーを、Web予約を簡易化、乗降お知らせメール等を実装し、こども・子育て世代等に優しいかもんタクシーに刷新する。
- ・小中学校の再編を見据え、かもんタクシーによるスクールバスの代替を一部で実施する。
- ・公共交通の利用者層の拡大に向けて、こども・子育て世代が公共交通を利用しやすいよう利用券のデジタル化や運賃施策を実施する。
- ・家族でのまちなかへのお出かけや回遊、温泉施設へのお出かけを促進する事業を行う。

事業の全体像・共創の仕組み



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働) ※一部共創パートナーを抜粋

(株)エヌ・ティ・ティコミュニケーションズ/(株)電腦交通: 現況のかもんタクシーの配車を担っているが、それを刷新し、かもんタクシーのWeb予約フォームの構築や利用時の乗降お知らせメールを配信を実装することでこども・子育て世代等に優しいかもんタクシーを目指す。

加茂市各課: 本事業に対するフィードバックを子育て世代等から受けることで、より効果的な事業を行うことができる。また、学校を通してこどもや子育て世代への広報することにより、本事業の対象者に効率的に情報を伝えることができる。

(実証事業により見込まれる効果)

- こども・子育て世代の利用が増えることにより、かもんタクシーにおいては、日中の13時～16時台の利用者数が増加する。
- 親が送迎をかもんタクシーにお願いできる、もしくは子ども自身が自ら公共交通で移動できるようになることで、親の自由な時間が増えることから、他の用事に時間を使う、働く時間を伸ばすことができ子育て世代の生活が現在よりも豊かになる可能性がある。
- 本事業でかもんタクシーが使いやすくなり、子育て世代への運賃割引や小中学生のかもんバス運賃無料、まちなか内内の移動無料化などにより、公共交通でおでかけする方が増え、まちなかで周遊や商店街での買い物の機会が増加する。

取組の詳細

(事業実施手順・スケジュール)

(1) 実証事業の計画作成【5月中旬～6月中旬】

- ・事業計画の立案および詳細設計、計画書の作成

(2) 実証事業の準備【6月上旬～7月上旬※準備は可能なところから着手】

- こども未来課/教育委員会
 - ・実証事業に対する子育て世代からの意見収集
 - ・児童生徒や子育て世代への周知
- 商工観光課/加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム
 - ・温泉施設との公共交通利用券/まちなかのイベントとの連携調整
 - ・まちなかエリアの方向性との整合確認
- エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ/電腦交通
 - ・Web予約フォームの改修、乗降時お知らせメールの機能追加
- RYDE
 - ・回数券・定期券のデジタル化
 - ・商店街や温泉施設とのセット券造成
 - ・まちなか内内のかもんバス利用の無料化実装
- エヌシーイー
 - ・各事業の効果計測のためのアンケート調査設計
 - ・公共交通キャラクターのデザイン

(3) 実証運行の実施【7月上旬～2月※周遊イベント等は1ヵ月程度実施】

- 市内タクシー事業者
 - ・こども・子育て世代に優しいかもんタクシーの運行
- エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ/電腦交通
 - ・Web予約フォームとコールセンターによる予約受付・配車
 - ・利用人数の把握・報告
- こども未来課
 - ・子育て世代からの実証に対する意見の収集
- RYDE
 - ・利用人数の把握・報告
- エヌシーイー
 - ・利用者へのアンケート調査（イベント利用者）
 - ・各事業の監理、事業の方向修正
 - ・利用促進イベント実施

(4) 事業検証【8月～2月※早めに検証し、本実証運行にフィードバック】

- ・事業検証結果の取りまとめ
- ・加茂市地域公共交通活性化協議会委員に対する事業報告
- ・今年度事業の評価、来年度以降の持続可能検討

(補助事業実施後の予定)

・次年度以降のかもんタクシーランニング費については利便増進計画の策定によるフィーダー補助の補助上限の増額を視野に入れつつ予算を確保する。

※本補助事業によりWebフォームの改修費用等のイニシャルコストを賄うことで、次年度以降追加の経費は発生しない。

・デジタルチケット化については、売上手数料の数%をデジタルチケット事業者に対して支払う必要があるため、今年度の実証の利用者数や運賃収入から見て、来年度以降継続を判断する。

・家族でのまちなかへのお出かけや回遊、温泉施設へのお出かけを促進により、これまで公共交通をあまり利用していなかったこども・家族での利用が増加することによる運賃増を見込んでおり、収支が前年度以上であれば継続する。